
竹林整備の教科書（1）



地球温暖化と竹林整備、竹紙づくり、竹の利用事例、竹とエコアートなど、「八王子住まいづくり市民塾」の活動を紹介しています。

<主な内容>

1. 人類が生きている現代という時代
 2. 地球温暖化
 3. 竹が炭酸ガスを減らす仕組み
 4. 八王子住まいづくり市民塾の活動
 5. エコアート・・魅力あふれた竹ともう一度「絆」を結ぼう
-

体験学習フォーラム八王子2018 ＜地球に優しいエコアート＞

基調講演: 竹紙は地球を救う

1. 人類が生きている現代という時代
2. 地球温暖化
3. 竹が炭酸ガスを減らす仕組み
4. 八王子住まいづくり市民塾の活動

エコアート…魅力あふれた竹ともう一度「絆」を結ぼう

八王子住まいづくり市民塾2018年10月
坂野大義(ばんの たいぎ)・渡辺政興(わたなべ まさおき)

1

イントロダクション

皆さん！ こんにちは。八王子住まいづくり市民塾の坂野大義です。
住まいづくり市民塾は、2005年に自らの生活を見直し、地球環境を保全する事を目的として、スタートしました。

スタート2年目頃から、竹林の保全と竹の繊維生産を行い、10年間で2000名ほどの子供やおとなの方々に紙漉き体験を提供してきました。

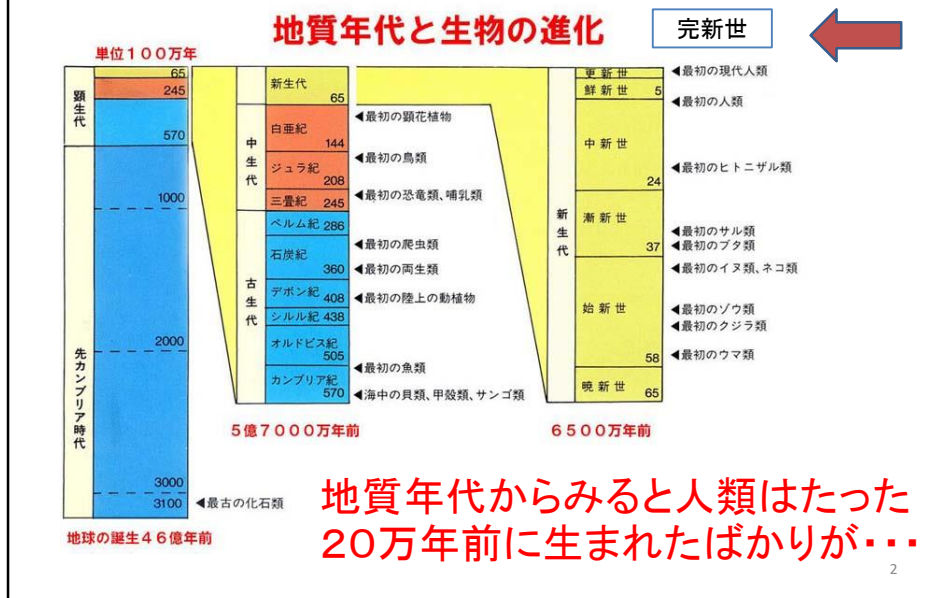
考えてみると当初から環境問題についての体験学習を実践してきた訳です。
そこで今日は、「竹紙は地球を救う」と言うお話をさせていただきます。
ちなみに竹紙は竹を原料として作った和紙のことです。

ほとんど知られていない言葉ですが、昔から中国には存在していました。日本でも知っている人は知っているでしょう。後ほど説明しますが、江戸時代、中国で作られた竹紙が浮世絵に使われたり、伊能忠敬が作った日本地図に使われているとのことです。竹紙の特性を生かした使われ方がされているようです。日本ではコウゾが主原料となって高品質の和紙が作られ、竹が原料になることはありませんでした。ちなみに、コウゾの繊維はとても長いことが特徴です。

住まいづくり市民塾は八王子の西部…小田野地区の松本さんというお宅の竹林で活動しています。松本さんのおばあちゃんは少し認知症気味で、敷地内に入る場合は、このような目印となる帽子をかぶることにしています。帽子には自分の名前を書きます。帽子の色は若竹のシンボルカラーの黄緑色です。

自己紹介はおしまいにして、本題に入ります。

1. 人類が生きている現代という時代



- Sheet1：本日は・・・この4つです。
- ・ 人類が生きている現代という時代
 - ・ 地球温暖化
 - ・ 竹が炭酸ガスを減らす仕組み
 - ・ 八王子住まいづくり市民塾の活動

Sheet2：人類が生きている現代という時代
 地球の誕生は今から46億年前です。30億年前頃に生命がどのように生まれたかは不明ですが、とにかく誕生しました。それから長い時間が経過し、地球は地質的な変化を遂げてきました。カンブリア紀、ジュラ紀は耳にしたことがありますね。古生代、中生代という時代があり、つぎの区分は新生代です。新生代は6,500万年前に始まり、今日まで続いています。原生人類はたったの20万年前に誕生しました。長い地球の歴史時間からみるとつい最近のことです。この頃の地球は気温の変動のはげしく更新世と名付けられています。

新生代・・・完新世→「人新世」(仮称)

- 約1万5千年前、農耕生活を開始するまでの人類は単なる生物としての存在だった。
- 現代の人間は農耕以前に比べ10万倍のエネルギーを使っている・・・桁違いの生き物だ
- 人類の活動が地球規模の影響力を持つようになった。新たな地質区分を追加する検討が始まっている

- 産業革命後200年が経過したとすると $200年 \times 10万 = 2,000$ 万年に相当する。
- ヒマラヤ山脈がゼロベースからできた期間が約5,000万年。

3

Sheet3：人新世

今から15,000年くらい前に地球の気温は温暖化し気候変動も穏やかになりました。この時期が完新世です。気候が温暖化になり人類は農耕生活を発明しました。農耕とは地球に働きかける行為です。

作物を作り火を使うことで人間のエネルギー消費は増大しました。そして、文明が発展し、産業革命を経て今日のように大量のエネルギーを消費する段階に至りました。

現代の人間は農耕以前に比べ10万倍のエネルギーを使っています。



Sheet4：現代人は桁違いの環境負荷源となっている

この写真は渋谷と思われます。人間であふれています。今日、人間は他の動物に比べ桁違いの影響を地球に及ぼしているのです。そこで人間の影響が地球に刻まれ時代を地質学的に区分けしようという動きがあり、人新世という仮称も提案されています。

ちなみに産業革命後200年として、20万倍をかけると2,000万年となります。2,000万年分の影響を与えたと考えることもできます。ヒマラヤ山脈は8,800mありますが、5,000万年前にインド亜大陸がユーラシア大陸にぶつかって隆起しはじめました。とてつもない長い時間です。ですから、2,000年年分の影響は相当なものだと考えて良いのではないかと思います。

夜の地球をみると人類が大量のエネルギーを使っていることがわかる



大量の化石燃料の消費で後戻りできないほどの温暖化をもたらしている 5

Sheet5：夜の地球

この写真の左は昼間の地球です。森林も、砂漠もよく見て取れます。海洋は蒼く自然に包まれた地球という感じがします。一方、右側は夜の地球の一部です。人々は明かりをつけて生活するので光っているところには人々がいっぱい住んでいることがわかります。朝鮮半島の南側は日本よりもよく光っています。しかし、北側、つまり北朝鮮にはほとんど光がありません。北朝鮮は地球に熱的な負荷を与えていないといえます。尚、この写真は説明によると1,990年代に撮影されたとのこと。今日ではもっと光っているはずです。人類が地球に影響を与えている事がわかる写真だと思います。

人類の活動が地球(自然)を変える 時代に求められること

- 地球がなんとかしてくれる…と甘えられる時代は過ぎ去った

- 地球を変えているという自覚を持つ

- 自ら選択し、結果を受け入れる覚悟をして生きる時代

- 温暖化問題が人類の最大の問題である

- 子供たちのため、未来の人類のために温暖化を食い止める

- 温暖化防止はすべての体験学習活動に組み入れるべきテーマ

アートでもエコを追求する時代となった

6

Sheet6：人類の活動が地球を変える時代に求められること

さて、人類の活動が地球規模の影響を与える時代をどう考えるべきか。私は次のように考えています。まず、覚悟として3点を指摘すると・・・

- 地球がなんとかしてくれる…と甘えられる時代は過ぎ去った
- 地球を変えているという自覚を持つ
- 自ら選択し、結果を受け入れる覚悟をして生きる時代

では、何をしなければならないかを整理すると・・・

- 温暖化問題が人類の最大の問題であると認識し
 - 子供たちのため、未来の人類のために温暖化を食い止める
 - すべての体験学習活動に＜温暖化防止＞をテーマとして組み入れる
- つまり、アートでもエコを追求する時代である、ということです。

<地球に優しいエコアート> エコロジカル・アート(エコアート)とは

・ エコアート・ジャパンの主宰者 笹井弘さん

「エコロジカルアートとは、自然を喚起する<表現内容>で、自然の素晴らしさ、偉大さ、能力、不思議さ、可能性などを観る人に感じさせるアートを指す。また、循環の概念をその内容に持つアートも含まれる。

それに加えて、作品の制作にあたり<材料や方法>に於いて環境に優しいと考えられる努力や工夫をはらっているか、或いはライフスタイルや他の分野で環境に関わる特筆すべき試みや活動をしていることが望まれる。

<自然が素晴らしい>に加え、地球環境が危ないと言うメッセージを伝えることもエコロジカル・アートの役割でしょう。

八王子住まいづくり市民塾 坂野

7

Sheet7：エコアートとは

そこで、本日のテーマ<地球に優しいエコアート>について考えてみましょう。

エコアートはエコロジカル・アートの省略と考えて良いですね。ここではエコアート・ジャパンを主宰されている笹井弘さんの定義を紹介します。

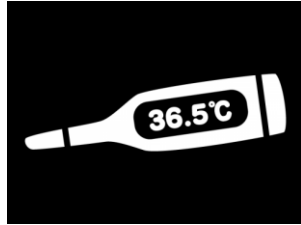
「エコロジカル・アートとは、自然を喚起する<表現内容>で、自然の素晴らしさ、偉大さ、能力、不思議さ、可能性などを観る人に感じさせるアートを指す。また、循環の概念をその内容に持つアートも含まれる。

それに加えて、作品の制作にあたり<材料や方法>に於いて環境に優しいと考えられる努力や工夫をはらっているか、或いはライフスタイルや他の分野で環境に関わる特筆すべき試みや活動をしていることが望まれる。

坂野としてはこの定義、つまり<自然が素晴らしい>に加え、地球環境が危ないと言うメッセージを伝えることもエコロジカル・アートの役割だとも思います。

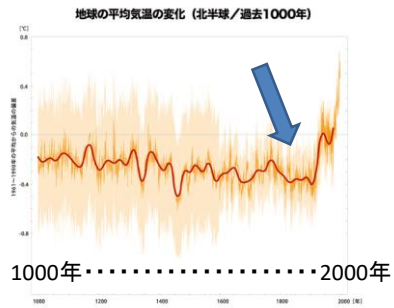
2. 地球温暖化

- あなたの体温は？



- 風邪を引く、インフルエンザにかかると発熱します

- 地球の体温は上がっている！！



実際の世界平均地上気温はおよそ15°Cです。産業革命後1°C上昇

8

Sheet8：地球温暖化

次に、地球の温暖化についてみてみます。

ここから数枚は城山小学校の4年、5年生対象の授業で使いました。人間の体温に例えると地球も発熱状態であることがわかってもらえたようです。

なぜ、CO₂が増えているのか？

■人間が活動する中で大量のエネルギー（化石燃料）が使われ、CO₂を大気中に排出。

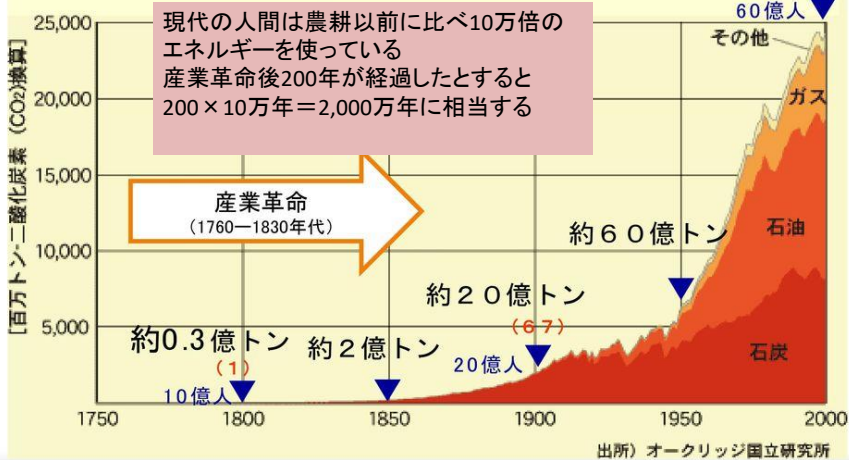
(CO₂=人間活動のごみ)

■産業革命当初と比べ、800倍のCO₂を排出。

約240億トン

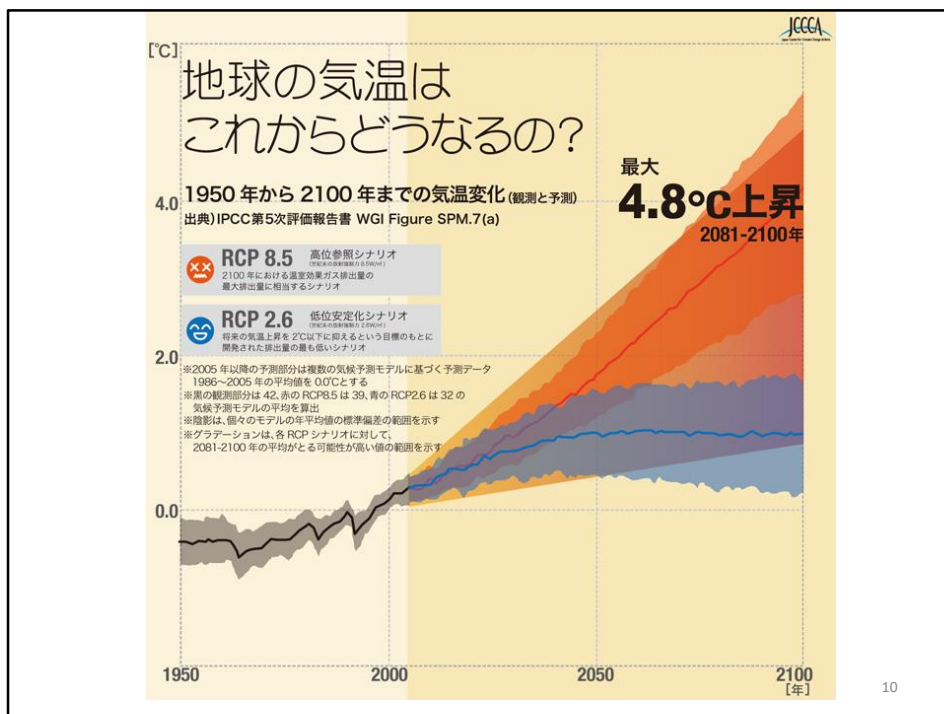
■世界の人口は200年間で6倍に急上昇。

(800)



Sheet9：なぜ、CO₂が増えているのか？

なぜ熱が出ているのか？それはこの図のように特に産業革命以後、人間は化石燃料である石炭、石油、天然ガスを見つけ出し、産業活動に使っています。毎年増加し、ものすごい量の炭酸ガスを放出しています。私が危惧していることは、メタンハイドレートを燃料化することです。日本の周辺の海域にもメタンがジェリーのようなようになったハイドレートが存在し、燃料として使える可能性があるとのこと。これは炭酸ガスの貯蔵形態の一つで、採掘の途中でガス化して大量に噴き出す危険性があります。人類はこれに手をつけるべきではないと思います。



Sheet10：地球の気温はこれからどうなるのか？

様々な予測が行われています。IPCC（以下に引用して役割を説明する）気候変動に関する政府間パネル（きこうへんどうにかんするせいふかんパネル、英語：Intergovernmental Panel on Climate Change、略称：IPCC）は、国際的な専門家で作る、地球温暖化についての科学的な研究の収集、整理のための政府間機構である。学術的な機関であり、地球温暖化に関する最新の知見の評価を行い、対策技術や政策の実現性やその効果、それが無い場合の被害想定結果などに関する科学的知見の評価を提供している。数年おきに発行される「評価報告書」(Assessment Report)は地球温暖化に関する世界中の数千人の専門家の科学的知見を集約した報告書であり、国際政治および各国の政策に強い影響を与えつつある。

国際連合環境計画（United Nations Environment Programme: UNEP）と国際連合の専門機関にあたる世界気象機関（World Meteorological Organization: WMO）が1988年に共同で設立した[1]。

の予測によると、21世紀末には最大予測で4.8°Cの上昇。ちなみに基準年は2000年です。

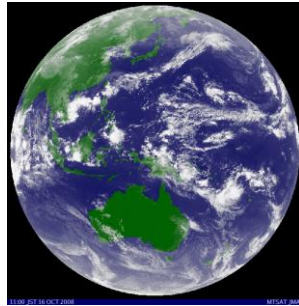
産業革命後すでに1°C上昇しており、グラフのように上昇速度が速くなっており、心配です。最近では温暖化が原因と思われる異常気象・・・高温、大雨、集中豪雨、巨大台風、気温の寒暖の差が激しくなるほか、蚊の北上、熱帯病が温帯地域で発生など生態系の変化も起きています。温暖化が進むと異常の発生が増加することが懸念されます。

温暖化をくい止めよう

生きている植物は光合成作用で大気中の炭酸ガス減らします。

動物は植物を食べて炭酸ガスを出します。

産業革命後、化石燃料(地下に埋まっていた燃料)を使うようになった。



Sheet11：温暖化をくい止めよう

生命のいる地球という惑星では、植物が光合成で太陽エネルギーを使って炭酸ガスと水から炭水化物を作り、酸素を放出します。

動物は植物を食糧にして空気中の酸素をつかい、エネルギーを獲得し、炭酸ガスを放出します。

このように大きくみると炭酸ガスは空気中－植物－動物－空気中と循環しています。このサイクルを炭素循環といいます。人間が化石燃料を使う以前は、循環のバランスがとれていました。

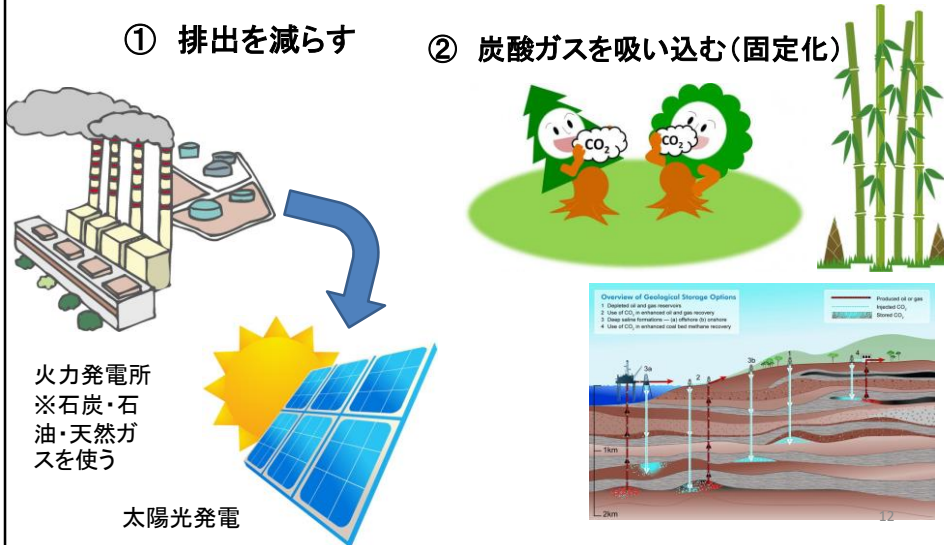
ところが、化石燃料を燃やすとその分の炭酸ガスはプラスとなり、大気中と海洋に入るが徐々に増加します。大気中の炭酸ガスは熱を逃がしにくいので本来宇宙空間に逃げていく熱が減る。その結果、大気温度が上昇するのです。

注：地球の気象現象は複雑であり、地球の気温変化も炭素循環だけでは説明できません。長い時間でみると炭酸ガス濃度がもっと高かった時代もあります。太陽も変化しており、その変化も地球に影響します。しかし、産業革命後の気温変化は地球史的にはごく短期間に起きていることから、現在の温暖化の原因は人間活動によるものと考えて間違いありません。

温暖化を防ぐには・・・炭酸ガスの排出を減らす、炭酸ガスを吸い込む

① 排出を減らす

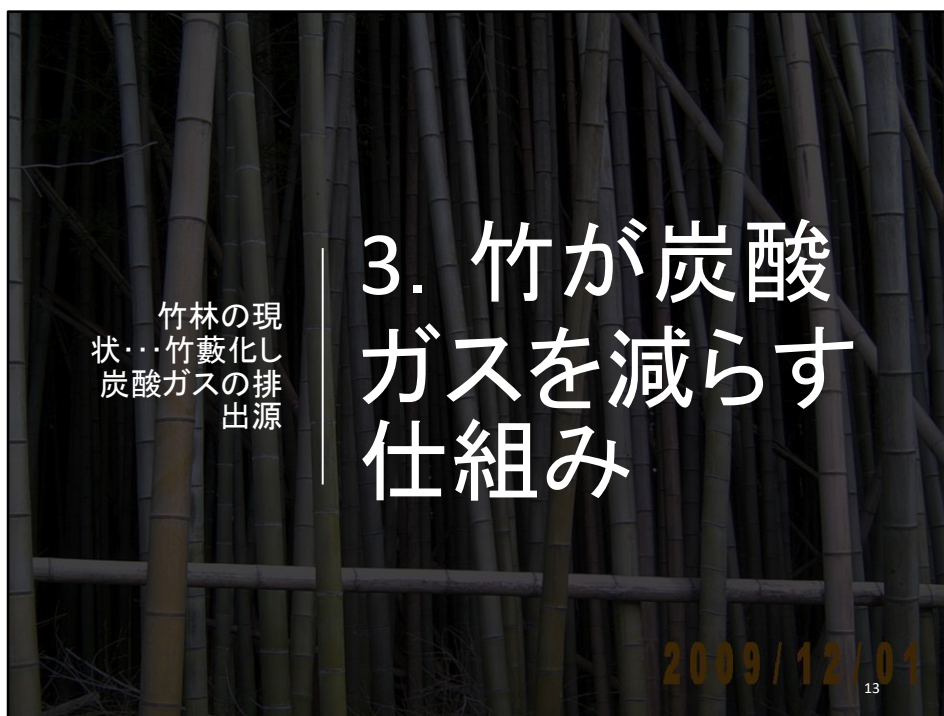
② 炭酸ガスを吸い込む(固定化)



Sheet12：温暖化を防ぐ方法

温暖化を抑えるには排出を減らすことです。石炭・石油を大量に使う発電を太陽光発電などに切り替える方法は効果が大きい方法です。この観点では毎日の暮らしの中での省エネ活動・・・例えば室内の暖房温度を28度に押さえる・・・も重要です。

もう一つの方法は空気中の炭酸ガスを吸収して減らすことです。森林や竹林は光合成で成長し炭酸ガスを減らすのに有効です。空気中の炭酸ガスを濃縮して石油を掘った地下に埋め戻す方法も研究されています。



Sheet13：竹が炭酸ガスを減らす仕組み

この写真は放置された竹林です。向こう側が見通せないくらいに密集していますが、多くの竹は枯死しています。竹林内には新しい竹はありません。このような竹林は光合成よりも枯れて微生物に分解され、炭酸ガスになる方が多い…つまり、温暖化防止に逆行する竹林なのです。

竹にも寿命・・・竹の一生は人間に似ている

- 若い竹はタケノコのお母さん(3年目～5年目)
- タケノコは炭酸ガスを吸って大きくなる。
- 6年～15年(枯れて死ぬ)まではタケノコを生まない



竹林のキープヤングが必要です。

14

Sheet14：竹にも寿命

竹にも人間と同じように寿命があります。孟宗竹は代表的な竹ですが、15年ほどで枯死します。

竹は親株の地下茎に芽ができてタケノコとして地上に顔を出し、約1ヶ月でおとなの高さに成長します。そして、自分自身の地下茎を育て、やがて、3年目になると新しいタケノコを成長させます。タケノコを産めるのは3年間ほどです。竹林が炭酸ガスを吸収できるのは若く維持された竹林であることが必要なのです。

手入れをした美しい竹林



Sheet15：手入れをした美しい竹林

この写真は市民塾が整備している西寺方町の松本さんの竹林です。この竹林は5年生までの竹で構成されています。6年過ぎた竹は伐採し、垣根、遊歩道、流しそうめん、繊維作業のために燃料などに活用します。以前は竹炭を作ったこともありました。他の竹林では竹チップー竹パウダーに利用するという事例もあります。



竹の利用 事例

16

Sheet16～Sheet19：竹の利用 事例

・ プラスチック製品が普及する以前は日本人、東南アジア、東アジアの人々は竹を暮らしの中で上手に使いこなしてきました。この写真で見ると茶道には竹が欠かせません。竹で作られたお盆も美しいです。



- ・ 竹は民衆の暮らしの中にはありましたが、今や竹製品はアートの一部になっており、値段もたかくなりました。



- ・ 竹の垣根も普通でしたが、背景にあるように最近では鉄パイプが使われます。竹の垣根は美しいです。



- ・ 市民塾が竹を提供している東京楽竹団です。わくわくビレッジに拠点を置いて活躍しています。

竹紙という利用 …浮世絵に使われた竹紙



Sheet20～Sheet21：竹紙という利用

紙の製法は我が国へは中国から伝えられました。中国では伝統的に竹が主要な製紙原料でした。

一方、日本ではコウゾが主原料となって発展しました。コウゾの繊維は長く、一方竹の繊維は見かけから推測されるのとは異なり繊維は短い。このことが、紙の性質に違いをもたらしているようです。我が国のアーティストは昔から、中国から竹紙を輸入して特性に応じて使い分けていたようです。

インターネットで検索してフィットした事例を2つ紹介します。

最初は写楽の肉筆扇面画です。

次の事例は歌麿の作品です。

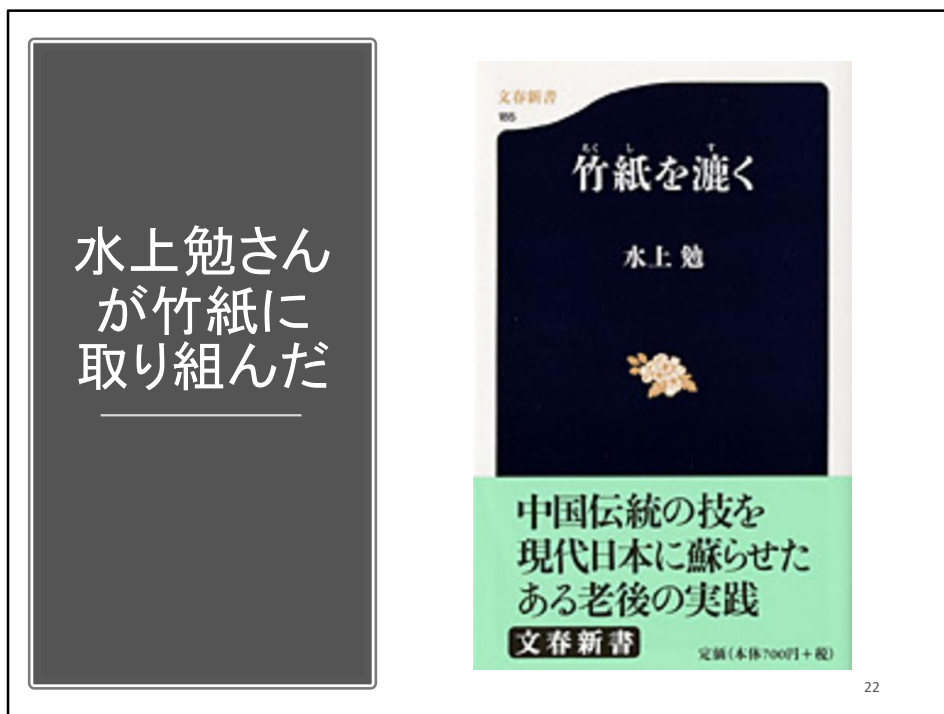
この他、伊能忠敬の日本全図では裏側がコウゾ、表は竹紙が使われていることが、修復の際、判明しました。古い書画や美術品などの修復の際、竹紙が使われている部分は竹紙で修復するとのこと。現在でも和紙の主要な産地である高知県の試験所で、昔の中国の竹紙の作り方が研究されたという報告がありました。

しかし、日本では竹が和紙の主要材料となることはありませんでした。

写楽の肉筆画・・・竹紙に描かれた

真筆と確認された写楽の肉筆画を世界で初めて一般公開！

2007年に世界遺産に登録されたギリシャ・コルフ島にある国立コルフ・アジア美術館には、ウィーン駐在ギリシャ大使のクレティオス・マノス氏が、19世紀末から20世紀初頭にかけて、パリとウィーンで購入した1万点以上におよびる美術が所蔵されています。そのコレクションは1世紀のあいだほとんど人の目に触れることがありませんでした。しかし、2008年7月に日本の研究者による大々的な学術調査が行われ、謎の浮世絵師、東洲斎写楽による肉筆墨画が発見されたのです。これは写楽が俳諧での活動を終えた後の1796年（寛政7）5月に描かれたものとみられ、従来の写楽研究に大きな影響を与える大発見となりました。このほかにも、喜多川歌麿、北斎などの新出の浮世絵師のほか、江戸城本丸にあった狩野探幽の原画の模本（原寸大）など絵画作品も次々と確認され、ギリシャに眠る絵室の全貌が明らかになりました。本展はこうした調査の成果を紹介するもので、膨大なコレクションから浮世絵、絵巻など約120件が出品されます。真筆と確認されている写楽の肉筆画が一般に公開されるのは、世界で初めてのことです。



Sheet22：水上勉さんの竹紙

現代に至り、作家の水上勉氏は人形劇団のために人形の頭作りに使うため竹粘土を作る事になり、その延長で竹紙作りに取り組まれ、一書を著されました。それがこの「竹紙を漉く」です。この帯に「中国伝統の技を 現代日本に蘇らせた ある老後の実践」とありますが、蘇らせた・・・この言葉は「中国の竹紙そのものではない」ということを意味しているように感じられます。私が今持っているのは中国製の竹紙です。非常になめらかな和紙です。一方、長野の工房で作られた水上流の竹紙はこちらで、パルプ化してない繊維が残っています。そのため、見た目に優しく独特の風合いがあります。市民塾は水上流の原料生産をしています。

4. 八王子住まいづくり市民塾の活動

- 竹林の整備
- 竹紙原料＝竹繊維の生産
- 結の会(障がい者作業所)への竹繊維の供給
- 竹紙の紙すき&壁紙貼り教室の定期開催
- 出張イベント…紙漉きと、生紙にちぎり絵を描く体験
- DIYお助け隊…軽易な大工作業および壁紙貼り支援

23

Sheet23：八王子住まいづくり市民塾の活動をご説明します。
ここのあるような6つほどの活動を行っています。その中の竹の繊維を作る部分を説明しましょう。

繊維を作るため若竹を仕込む



24

Sheet24：繊維を作るため若竹を仕込む

竹林では3月末頃からタケノコが頭を出し始めます。そして、タケノコご飯など楽しんでタケノコにも飽きた頃、写真のように伸びた竹を根元から伐り、節を除きます。筒状になった竹を槌で叩き短冊状に割ります。



微生物のパワーで竹繊維が出来る

25

Sheet25：微生物のパワーで竹繊維が出来る

その竹を大きな蓋付きのポリ容器に詰め、水を張って蓋で密閉します。夏がすぎる頃、蓋を開けると繊維がバラバラになってきたことが確認できます。この時点ではものすごい悪臭状態なので市民塾では2年間放置します。その結果、悪臭はかなり減り、なんとか作業ができる状態となります。

写真の右側は2年経過したモノを水で洗浄した状態です。繊維をバラバラにした犯人は微生物です。輪切りにした竹をよく見ると小さな点の間を埋めている部分があることがわかります。繊維の充填物はヘミセルロース、リグニンという多糖類で、分子が絡み合ったり、結合して時間とともに硬くなります。しかし、タケノコが成長する段階に固まってしまうと伸びられません。そのため、伸びきるまでは全面的に硬化はしません。よりはっきり言うと、伸びていく先端方向は柔らかく、根元に近い方は次第に硬くなっています。若い竹では充填物は柔らかいので微生物がどんどん食べてくれます。しかし、微生物でもセルロースでできた繊維は食べられません。その結果、繊維がバラバラになって残るのです。このように、竹紙の原料は微生物パワーで作られるのです。

繊維を水で洗い、さらに10%の炭酸ソーダ溶液でグツグツ煮ます。この作業を<煮熟>と呼びます。（ここで繊維を見せる）



Sheet26：紙漉き・・・竹紙が出来ます

竹の繊維を水につけ、木の棒で叩きます。叩くと繊維がほぐれパルプ状になります。この作業を<叩解 こうかい>と呼びます。実際にはビーター（Beatar）と言う機械を使ってパルプ化を行っています。パルプを観察すると細かいモヤモヤの状態になっていることがわかります。子のモヤモヤをすくい上げる作業が紙を漉くという作業です。

漉く作業には溜漉き法と流し漉法があります。結の会では溜漉き法で行っています。伝統和紙はすべて流し漉法で作られます。この方法は日本独自で薄くて強い紙を作ることができます。



Sheet27：こうしてできた竹紙はぬくもりがあります。

竹紙入り障子紙 講習



Sheet28：竹紙入り障子紙 講習

市民塾では紙漉き教室を定期開催しています。現在は紙漉きと壁紙貼りをメニューとしていますが、以前には写真のように障子紙、ふすま紙貼りもメニューにありました。

竹紙を使った茶室・・・施工：結の会



Sheet29：竹紙を使った茶室

結の会は壁紙サイズの紙を生産しています。竹繊維入りの製品ほか、利用者の希望に応じて紙を生産し、施工も対応します。また、お客様自身が壁紙貼りする<セルフビルド>の支援も行います。

余談ですが、日本の建売住宅の寿命は20年くらいで、とても短いです。その原因の一つに家に愛着がないことがあります。家を購入するのではなくご自身も家の設計や内装に関わることで愛着が生まれます。その結果、寿命の長い家となり、住宅の環境負荷を低減させることができます。



Sheet30：子供向け体験イベント・・・東京高専 サイエンスフェスタ
市民塾では竹を切り口に環境学習体験を提供しています。写真は昨年まで約10年間毎年開催された、東京高等専門学校のサイエンスフェスタに出展した一コマです。紙の作りかた、植物の繊維、竹林保全の意義を伝え、竹紙のはがきを渡してもらいます。さらに生のはがきにちぎり絵を描いてもらいます。

体験イベント…ゆかたで七夕祭り



Sheet31：体験イベント…ゆかたで七夕祭り

この写真は毎年7月に参加している「ゆかたで七夕祭り」の一コマです。子供たちは思い思いにちぎり絵を楽しんでいます。



ちぎり絵・絵手紙には不思議な力がある

32

Sheet32：ちぎり絵・絵手紙には不思議な力がある
できた作品を見せてくれました。どの子の作品も個性的です。創造で何かが
解放されるのかみんないい表情ですね。

21世紀型の竹林利用…<地主>と<市民>
と<福祉作業所>のチームワークを通して人
の輪を大きく広げます

住まいづくり市民塾



福祉作業所 結の会



←竹林のオーナー…白シャツの男性

33

Sheet33：21世紀型の竹林利用

竹林が温暖化の抑制に役立つためには、竹林のキープヤングとそのため竹の利用・活用が必要なことをお話しさせてもらいました。このために必要なことがあります。ほとんどの竹林は民有林です。通常、持ち主は知らない人が竹を採りに来ることを嫌います。しかし、利用せず放置したのでは竹藪化します。一方、高齢化で暇な高齢者はいっぱいいます。市民が協力すればお金をかけずに美しい竹林が蘇ります。しかし、竹を使った製品が世の中に流れていかないと活動はやがて停滞し、竹林は再び竹藪に戻ります。竹林の生産物を世の中に流通させる事が活動の持続に欠かせません。

市民塾の場合、竹繊維を結の会に提供し、結の会が竹紙にして販売活動しています。このように所有者、市民ボランティア、商品生産者の三者が連携することが大事です。さらにこうした活動がどんどんと生まれるようにするには行政の後押しがあったほうがもっと良いです。竹林所有者が市民に竹林を提供しやすくする上で、行政には仲介を行ってほしいのです。また、商品をレベルアップするような品評会ができれば市民の関心を高めることができます。

このように市民連携システムを行政がバックアップするという形が21世紀の竹林利用モデルです。



魅力あふれた竹ともう一度「絆」を結び
21世紀のエコアートを作りだそう

34

Sheet34：エコアートで地球を守ろう

さて、今回は＜竹紙が地球を救う＞のタイトルでお話ししましたが、竹林だけでなく森の木も草花もエコアートの材料であり、環境学習のチャンスです。竹をはじめ自然の恵みとの絆をもう一度結び直すエコアートに取り組みましょう。